

講義科目名称： 感染学

授業コード： 2220200900

英文科目名称： Infectious Disease and Infection Control

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員			
◎葛城美德			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 前期 【授業時間】 15時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 ◎葛城 美德 【研究室】 314 【メールアドレス】</p> <p>【本学の科目区分】 専門基礎科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】</p> <p style="text-align: center;">◎</p>
------	---

到達目標	病原微生物の種類と特徴、それに対する生体防御機構を理解し、感染に伴う生体現象を説明することができる。感染症の診断、治療、予防等に関する基礎知識を習得し、病院における感染防止の方法と対策について理解する。
------	---

授業概要	病原微生物による感染症について、総論及び各論を講義する。個々の感染症の症状や治療法、予防法、院内感染リスク等を説明する。感染症法における感染症の分類や感染予防における看護の役割も講義する。
------	--

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：対面 学習課題：（総論1）微生物と感染症の専門用語と基礎知識 学習内容：原核微生物、真核微生物、無細胞微生物(ウイルス)、毒素、芽胞、空気・飛沫・接触感染 備考：</p> <p>2 授業内容 授業形態：対面 学習課題：（総論2）生体防御機構(免疫)・（総論3）抗微生物薬と化学療法、薬剤耐性 学習内容：体液性免疫、細胞性免疫、粘膜免疫、アレルギー、抗微生物薬の種類・作用・副作用、薬剤耐性菌 備考：</p> <p>3 授業内容 授業形態：対面 学習課題：（各論1）グラム陽性菌とその感染症 学習内容：ブドウ球菌・レンサ球菌・肺炎球菌・腸球菌/バシラス属/リステリア属/ジフテリア/破傷風菌・ボツリヌス菌・ウェルシュ菌 備考：</p> <p>4 授業内容 授業形態：対面 学習課題：（各論2）グラム陰性菌とその感染症 学習内容：病原性大腸菌・赤痢菌・サルモネラ・ペスト菌・コレラ菌・腸炎ビブリオ・インフルエンザ菌・破傷風/淋菌・ペスト菌・緑膿菌、レジオネラ菌 備考：</p> <p>5 授業内容 授業形態：対面 学習課題：（各論3）抗酸菌/スピロヘータ/マイコプラズマ/リケッチア/クラミジア・（各論4）真菌/原虫/寄生虫とその感染症 学習内容：結核菌・らい菌・非結核性抗酸菌・放線菌・梅毒・ボレリア属・肺炎マイコプラズマ・リケッチア属・ツツガムシ病・クラミジア 備考：</p> <p>6 授業内容 授業形態：対面 学習課題：（総論4）ウイルスの臨床的分類、ウイルス感染症の総括・（各論5）DNAウイルスとその感染症 学習内容：ウイルスの総論と臨床的分類、ウイルス感染症の総括・天然痘・ヘルペス・水痘-帯状疱疹、咽頭結膜熱、子宮頸癌、伝染性紅斑、B型肝炎など 備考：</p> <p>7 授業内容</p>
------	---

8	<p>授業形態：対面          学習課題：（各論6）RNAウイルスとその感染症（1）・（2）          学習内容：インフルエンザ、流行性耳下腺炎、麻疹、狂犬病、エボラ出血熱、C型肝炎、急性灰白髄炎、風疹、感染性胃腸炎、成人T細胞白血病、後天性免疫不全症候群、SARS/MERS、COVID-19、プリオンなど          備考：          授業内容          授業形態：対面          学習課題：感染症の現状と対策・看護における感染予防の基礎知識・総括・演習問題          学習内容：文明病としての感染症とその変遷、COVID-19、感染症法、国内外の感染監視体制、予防接種、院内感染・医療関連感染の特徴と感染経路、標準予防策、滅菌消毒、感染防護、感染学総括・演習問題          備考：</p>
事前・事後学習	<p>（事前学習）講義予定に即した指定教科書の内容を一読することが望ましい。          （事後学習）講義中に指示した内容については、教科書もしくは配布資料をよく読み理解を深める。</p>
評価方法、評価基準	<p>筆記試験で100%評価する。</p>
必携図書	<p>「系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学」（医学書院）</p>
参考図書・資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義のハンドアウト資料およびVTR等の視聴覚資料を基にして授業を進めます。</li> <li>・臨床薬理学の教科書（必携図書）も参考になると思います。</li> </ul>
受講、課題、資料配布等のルール	<p>当日配布する資料と教科書の対応部分を中心に講義します。詳細は初回の講義で説明します。</p>
教員からのメッセージ	<p>我々をとりまく環境には無数の病原微生物が存在しますが、その多くは免疫等の防御機構により感染から免れています。感染症はあらゆる医療現場で直面する重要な疾患であり、感染防御のミスは即感染拡大にもつながり、致命的な場合もあります。本講義では感染のメカニズムや感染防止の基礎知識を学び、病原微生物ごとの各論や抗菌剤・抗ウイルス薬についても学習します。</p>
オフィスアワー	